「つながりを深める人間性」「可能性を引き出す知性」「明日を切り拓く感性」

学校だより

ふじ美が原

令和２年 12 月 25 日
No. 6

富士見中学校

「まずは一日、そして一日から一週、一週から一ヶ月・・と」
「同じ自分から、新しくなっている自分へ」
「人から言われないで自分でやってみる」

特集：二学期終業式

二学期　登校日数89日

二学期終業式

Oさん、Aさん、Hさん、三人の皆さんにお願いがあります。「新しくなった自分」ではなく、「同じ自分」です。

今の自分の違いを向けてください。

前は思わなかったことでも構いません。小さなことでいいのです。

今は知らなかったことを知っていくことが自分の成長です。

自分の違いを自分自身で見つけてください。そして自分の違いを自分と今のかつての自分とを比べて、自分の成長を振り返ってみる。

こんなことも構いません。細かなことでも構いません。

自分の成長を感じられるようになっていってください。

動いていることが行動になったら、自分の成長したいのです。

もっと成長したいので、一気に一ヶ月分の経験を与えてください。

「一ヶ月分の経験を与えてください」と思ったところで、そこはそんなことは無理だということです。当たり前ですよね。

誰にとっても、訪れるものは一日です。

ここの一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

二日分、三日分、一週間分、二週間分、一ヶ月分、三ヶ月分、一年分、一生分、一日一日を過ごしていくことです。

結果として、一日一日の積み重ねが絶対になっていくのです。

これは気にはやれないのです。

一週間分や一ヶ月分、一年分、一生分という風に積み重ねていくのです。

人はそれぞれ同じではありません。

そのことが自分でやってみることです。

一つ一つ、一日一日、一週間、一ヶ月、三ヶ月分を、一日一日、一週間、一ヶ月、三ヶ月分、一年分、一生分という風に積み重ねていくのです。

絶対になっていくのです。

これは気にはやれないのです。

結果として、一日一日の積み重ねが絶対になっていくのです。

日分、一週間分、二日分、三日分、一ヶ月分、三ヶ月分、一年分、一生分という風に積み重ねていくのです。

今日の一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

二日目の一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

三日目の一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

一ヶ月目の一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

三ヶ月目の一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

一年目の一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

一生目の一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

今日の一日の中でたくさんの取り組みをしていくことです。

二学期が始まって十二日目。

土日を含めて数えると九十九日です。

短く感じます。

一方で、人から言われないで自分でやってみることが大切だと思います。

今日で二学期が終わります。

二学期の登校日数は、八十九日です。

土日祝日等を含めて数えると百二十九日です。

二学期の登校日数は、八十九日です。

長くて違和感のあるいつもとは違う生活でしたが、全員が生き残ることができました。

校長先生のお話を聞いてきました。

校長先生のお話を聞いてきました。

校長先生のお話を聞いてき

二学期の振り返り
一年三部　O・S

私は、小学校と中学校の違いを二学期にたくさん感じました。例えば、企画案を代議員が議案審議することで、よりよい企画にしようとしているところや、あいさつ・合唱・清掃の三本柱の伝統をとても大切にしているところ、自分から積極的に発言したり、率先して動ける人がたくさんいるところなどです。そして、特に大きな違いを感じたのは、白鈴祭です。

初めての白鈴祭を、私はとても楽しみにしていました。ですが、準備が始まると分からないことだらけでした。委員会の仕事や役割も、クラスで協力して何かをするときも、うまくできなかったことが多く、たくさんの人に助けてもらいました。たくさんの人の力を借りて準備が整い、行われた白鈴祭はとても楽しかったです。来年は誰かに助けてもらうのではなく、誰かが困っていたら手伝ってあげられるようになりたいです。

そのためにも、まずは三学期、その仕事の期限がいつまでなのかをはっきりさせて、計画的に進められるようにしたいと思います。

二学期をふり返って
二年三部　A・S

長かった二学期をふり返ってみるとコロナウイルス感染拡大予防が徹底された中行うことができた白鈴祭や合唱祭、また私たち二学年には生徒会の引き継ぎなど、それぞれ印象に残ったものがたくさんありました。

私が一番印象に残っているのは、合唱祭です。理由は二つあります。まず一つ目はクラス替えで新しい仲間になり、その仲間と共にいい合唱を創れたことです。今年は休校により、今の仲間と過ごす時間が例年よりも短く、文化委員として合唱練習を進めていくことがとても不安でした。なかなか合唱練習に気が向かない人がいたり、練習をスムーズに進めることができない日があったりしてたくさん悩みました。だけど、花岡先生のご指導を境に、クラス全体の合唱が一気に変化してとても驚きました。その後の合唱練習では、毎日のようにいい方向に変化していく仲間に対して、私自身もっと前向きに頑張ろうと思いました。そこからだんだんと不安な気持ちもなくなり、楽しみながらクラスの仲間と合唱を創ることができて、とてもいい時間になりました。

二つ目は、例年と違った方法での合唱祭です。コロナウイルス感染予防が徹底され、学年毎に入れ替わり制で行われました。今年は合唱祭自体、開催できるかどうか曖昧なときもありましたが、できたことがとても嬉しかったです。今年度の白鈴祭や合唱祭が開祭できたのは、三年生の役員の皆さんや先生方のおかげだと私は思います。ご苦労も多かったと思いますが、それぞれの行事に参加をさせてもらえて、本当に幸せだったなと思います。ありがとうございました。

三学期は、生徒会を引き継ぎ先頭に立って引っ張っていく学年の一人として、責任をもち日々の生活を過ごしていきたいです。

二学期の振り返りと三学期に向けて
三年四部　H・M

私は、二学期に学習に力を入れて頑張りました。

まず学校での授業の取り組みです。特に一学期よりも積極的に発言をしました。先生の説明をよく聞き、自分なりの考えをもち、それを伝えることを心がけました。私は人前で意見を言うことが得意ではありませんが、繰り返し発言をすることにより、以前よりも抵抗なくできるようになりました。今後も継続していきたいです。さらに、家庭学習では、毎日各教科の提出物を出すことができました。以前は、作業的になしていくだけになってしまっていて、結局頭に入らず、時間ばかりかかってしまいました。なので、自分の力で問題を解くなど、力がつくようにしました。大変に感じることも正直ありますが、毎日少しずつでも取り組んで力をつけていきたいです。

また、二学期には文化祭や合唱祭、修学旅行などの行事もありました。その中でも合唱祭が印象に残っています。最優秀賞が取れたのはもちろん、毎日の練習の成果が発揮できたことがとても嬉しかったです。

どの行事も私たち三年生にとっては最後となるので例年とは違う形になりましたが、できて本当に良かったと思います。行事に向けて仲間と一緒に取り組んだことや、当日の盛り上がりはどれも良い思い出になりました。

三学期に入るといよいよ本格的に受験が始まります。三学期も引き続き、高校受験に向けて勉強を頑張ります。さらに、三年生全員が一緒にいられるのはあと少しなので、もっと友達との仲を深めたいです。

以上のように中学校生活最後の三学期は、胸を張って卒業できるように、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

◇終業式に先だって行われた冬季壮行会では、スケートの県大会にする選手の応援を放送で行いました。

二学期終業式では、三名の生徒が代表し意見を発表して下さいました。

今年度は、コロナ禍ということで、行事を今までと同じように進めることができず、生徒達も感染対策をしつつ、どうやったらできるのかと工夫をしながら、取り組んでくれました。

それぞれの行事の後の振り返りでは、「工夫して開祭できてとても嬉しかった。」「修学旅行ができなくなってしまうのではないかと不安があったができて良かった。とてもよい思い出を創ることができた。」「先輩や先生方の、いろいろな方のおかげでできたので感謝したい」等の感想がたくさんありました。

この二学期、学校にとっても大きな行事が開催できましたこと、また学校生活が無事に行えましたことは、保護者の皆様や地域の方々が、陰になって生徒達の健康等について配慮して頂けたからこそと感謝の気持ちでいっぱいです。

三学期は、中学校にとって、進級や卒業を迎え、生徒達が一段と大きく成長する学期です。引き続きコロナ禍であると思われますが、休み明けに生徒が元気に登校し、学校生活を今まで通りできるように願っています。引き続きのご協力、サポートをよろしくお願い致します。

富士見町立富士見中学校
諏訪郡富士見町富士見四六五四番地
TEL　〇二六六―六二―二〇〇九
担当　油井　彰